

ポータブル DVD プレーヤー APD-0901F

取扱説明書



ごあいさつ

お買い上げいただき、ありがとうございます。
本取扱説明書をよくお読みのうえ、安全にお使いください。
本書は、いつでも見られるところに保管してください。

はじめに

こんなことが
できます

準備する

再生する
/ テレビを見る

設定を
変更する

こまったときは

仕様

もくじ

はじめに

安全上のご注意.....	3
使用上のお願い.....	8
付属品一覧.....	10

こんなことができます

こんなことができます	11
DVD・CDを再生する.....	11
外部メディアを再生する.....	11
他のAV機器に出力する	11
再生できるディスク・メディア.....	12
再生できるディスク・メディア	12
再生できるファイル.....	13
デジタル放送を録画したディスク	13
ディスク、外部メディアの取り扱い.....	13
DVDパッケージの表示	14

準備する

各部の名称.....	15
本体.....	15
リモコン.....	16
レンズ保護カバー	17
レンズ保護カバーの取り外し	17
電源の接続.....	18
本体電源スイッチについて.....	18
電源のスタンバイ	18
ACアダプターを使用する.....	18
DCアダプターを使用する.....	18
内臓バッテリーについて.....	18

リモコンについて	19
はじめてリモコンを使う.....	19
リモコンの使い方	19
電池の入れ方	19
ディスプレイについて	20
ディスプレイの回転.....	20

再生する/テレビを見る

基本的な操作.....	21
ディスクの挿入と再生.....	21
一時停止.....	22
停止	22
音量の調整.....	22
消音	22
早送り.....	22
早戻し.....	22
DVDの操作	23
音声の切り換え	23
字幕の切り換え	23
チャプターのスキップ.....	23
チャプターを選択して再生.....	23
チャプター番号を指定して再生	23
メニュー画面へ移動.....	24
くり返し再生	24
アングルの切り換え.....	24
ズームの切り換え	24
再生情報の表示	24
場面を時間で指定して再生.....	25
プログラム再生	25
プログラム再生の解除.....	25

CD の操作.....	26
トラックのスキップ.....	26
トラック番号を指定して再生.....	26
時間 / トラックを指定して再生.....	26
くり返し再生.....	26
A-B 間くり返し再生.....	26
再生情報の表示.....	26
プログラム再生.....	27
プログラム再生の解除.....	27
CD を録音する.....	28
CD を USB/SD へ録音.....	28
録音中.....	29
外部メディアを再生する.....	30
外部メディアの再生.....	30
外部メディアの取り外し.....	31
他の AV 機器と接続する.....	32
外部 AV 機器への出力.....	32
外部 AV 機器からの入力.....	32
イヤホンを使用する.....	32
テレビを見る.....	33
フルセグ・ワンセグ放送.....	33
フルセグ・ワンセグ受信準備.....	34
フルセグ・ワンセグの視聴.....	35
フルセグ・ワンセグの切り替え.....	35
チャンネルリストの表示.....	35
番組表の表示.....	35
ボタン操作一覧.....	36

設定を変更する

一般設定.....	37
サウンド.....	38
画面調整.....	39
その他.....	40
パスワードの設定.....	41
パスワードの変更.....	41

こまったときは..... 42

仕様..... 45

安全上のご注意

必ずお守りください

本製品を正しく安全にお使いいただき、お使いになる方や周囲の人の危険と物的損害を未然に防ぐために、重要な事項を記載しています。

本製品をお使いの前に、次の内容をよく理解して本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らずに誤った使い方をすると、死亡または重傷を負う危険性があることを示します。



注意

この表示の注意事項を守らずに誤った使い方をすると、傷害または物的損害が発生する危険性があることを示します。



禁止事項を示します。



ご確認いただきたい情報を示します。



警告



電源プラグ
を抜く

故障の発生や異常が感じられるときはすぐに使用を中止してください

- ・煙が出ていたり、変なにおいがするとき
⇒ すぐに電源プラグを抜き、煙が出なくなるのを確認してから、弊社お客様相談窓口にご連絡ください。
- ・本体の内部に水や異物が入ったとき
- ・落としたり、外装が破損したとき



分解禁止

修理・分解・改造はしないでください

- ・感電の原因になります
⇒ 修理や点検は、弊社お客様相談窓口にご連絡ください。
- ・保証対象外になります。



禁止

同梱された付属品以外を製品と組み合わせて使用しないでください

- ・火災・感電・故障の原因になります
⇒ コードやアダプターは同梱品を使用してください

警告



禁止

運転者は運転中に本製品を操作しないでください

- ・事故の原因になります
- ・操作するときは車両を停止させてから行ってください



禁止

下記場所での設置・使用はしないでください

- ・火災・感電の原因になります

1. 湿度の高い場所・ぬれた場所

⇒浴室・プールまたは加湿器の近くなどでの使用は避けてください

2. 温度の高い場所・温度変化の大きい場所

⇒直射日光が当たる場所、暖房・冷房の近く、調理器具の近くなどでの設置・使用は避けてください

⇒車内に放置しないでください

3. ほこりの多い場所・熱の籠もるような物の近く

⇒工場・作業場、また毛足の長いじゅうたんの上などでの使用にはご注意ください

4. 電磁波や強い磁気を発する機器等の近く

⇒電子レンジや音響スピーカーの近くでの使用は避けてください

5. 閉めきった狭い空間

⇒棚の中など熱が籠もるような場所で使用しないでください

⇒布などをかぶせて使用しないでください



禁止

電源コードがねじれていたり、損傷したままでの使用はしないでください

- ・故障・破損・発熱・溶解・感電・火災の原因になります



禁止

電源コードを束ねたままでの使用はしないでください

- ・ノイズの発生・故障・破損・発熱・溶解・感電・火災の原因になります



禁止

タコ足配線はしないでください

- ・火災・感電・故障の原因になります

⇒接続する前に、傷などがないか電源コード全体を点検してください

⇒接続する前に、電源コードを伸ばして使用してください

⇒電源コードに傷などがあつた場合は、弊社お客様相談窓口にご連絡ください。

⇒電源コードを接続したあと、ねじれている箇所はないか、イスの足などがのっていないか確認してください

⇒配線・配電は、容量に合ったものを使用してください

警告



確認

電源プラグの周辺はきれいにしてお使いください

- ・火災の原因になります
⇒電源プラグとその周り・電源コンセントにほこりなどが付いていたら掃除してください



禁止

本製品が水にぬれることは避けてください

ぬれた手で触れないでください

- ・感電の原因になります
⇒雨天時、降雪時、水辺での使用を避けてください
⇒飲み物などにお気をつけください
⇒お手入れにはよく絞った雑巾などで軽くふき、液体や霧状の洗浄剤は使用しないでください



禁止

雷が発生しているときは、本体・電源コード・AV 接続ケーブルに触れないでください

- ・感電の原因になります



禁止

本製品のレンズ部や通気孔などから内部にものを差し込まないでください

- ・火災・感電・故障の原因になります
⇒ドライバー、クリップなどを差し込むのはおやめください



確認

本製品ご使用の前に、本製品のリモコンで他製品が誤動作を起こさないことを確認してください

- ・火災・故障の原因になります
⇒とくに暖房装置などにご注意ください



禁止

本製品の内部をのぞかないでください

- ・視力障害の原因になるおそれがあります
⇒本製品のピックアップレンズにはレーザーを使用しています

⚠ 注意



変形したディスクは使用しないでください

・けが・故障の原因になります

禁止



ひざの上に置いて使用しないでください

・低温やけど・けが・損傷の原因になります

禁止



出入り口・通路等で使用しないでください

・けが・損傷・故障の原因になります

禁止



振動の多い場所・不安定な場所では使用しないでください

・故障の原因になります

禁止



上にものを置かないでください

・故障の原因になります

禁止



液晶画面を長時間連続して見ないでください

・視力低下の原因になります

禁止



本製品に磁気カード（クレジットカード等）を近づけないでください

・磁気カードが使用できなくなるおそれがあります

禁止



液晶画面を強く押したり、衝撃を与えないでください

・故障・損傷の原因になります

禁止



液晶画面が割れた場合、内部の液体には触れないでください

⇒口に入った場合は、できるかぎり吐き出し、水で口とのどをよくすすぎ、医師の診察を受けてください

⇒目に入った場合は、水でよく洗い流し、医師の診察を受けてください

⇒皮膚や衣服に付いた場合は、アルコールでふき取り、水洗いしてください

禁止



アダプターを抜くときは、アダプター本体を持って抜いてください

・コードを持って抜くと損傷の原因になります

電源プラグ
を抜く

注意



電源プラグ
を抜く

本製品を使用しない場合は、電源から AC アダプターまたは DC アダプターを抜いておいてください

- ・天災（落雷など）やほこり等が原因のトラッキングなどにより故障や火災の原因となることがあります



確認

持ち運ぶときは次のことを守ってください

- ⇒電源や他の接続をすべて取り外してください
- ⇒ディスク、外部メディアをすべて取り外してください



確認

ご使用の際は、音量を小さくしてから再生をしてください

- ・突然大きな音声がでると聴覚障害の原因になる場合があります。



確認

イヤホンを使用するときは音量にお気をつけください

- ・大きな音で長時間聴き続けると、聴覚障害の原因になる場合があります

はじめに

使用上のお願い

- ・ 本製品にあいている放熱用の通気孔をふさがないでください。
- ・ 本製品の使用中に、近くにあるテレビ・ラジオ・ビデオ等の機器に、画像や音声の乱れなどの悪影響が出ることがあります。その場合は離してご使用ください。
- ・ 殺虫剤や整髪料、その他揮発性の溶剤などをかけないでください。お手入れの場合も、アルコール・シンナー・ベンジン等の溶剤は使用しないでください。
- ・ ゴム製品やビニール製品を長時間接触させないでください。
- ・ 長時間で使用になると本体が熱くなることがありますが、故障ではありません。
- ・ ご使用にならないときは、本体電源を OFF にし、ディスク・メモリーカード・USB メモリーを取り外しておいてください。
- ・ 本製品は日本国内専用です。海外などでは使用しないでください

はじめに

■ DC アダプターについて

- ・ 同梱の DC アダプターは 12V のマイナスアース車専用です。車両電源に接続する前に、お車の仕様を確認してください。
- ・ 上記や仕様以外の使用環境でのご使用は、故障の原因になりますのでおやめください。
- ・ 同梱の DC アダプターから電力を供給する場合、エンジン始動時は DC アダプター（アクセサリソケット側）を抜いておいてください。
- ・ 同梱の DC アダプターから電力を供給する場合、エンジン始動時およびエンジン回転数の上がり下がりによって電圧は変化します。本製品の電源回路に負荷がかかるのでアイドリング時の電圧の安定した状態でお使いください。

■ AC アダプターについて

- ・ AC アダプターは家庭用 100V のコンセントに接続してください。
- ・ 濡れた手で AC アダプターの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。
- ・ 本製品に付属している AC アダプターを使用してください。
- ・ AC アダプターを使用していると AC アダプターは熱を持ちます。持ち運ぶときはコンセントから抜いて、温度が下がってから持ち運んでください。風通しの悪い場所で使用すると故障、事故の原因になりますのでご注意ください。

■ 液晶パネルの特長について

- ・ 液晶パネルは構造上、非常に高精度な技術で作られており 99.99%以上の有効画素数を実現していますが、ごくわずかに画面の一部に光らない点（画素欠け）や周囲と異なる色が点灯したままの点（輝点）が存在する場合があります。これは故障ではありませんので予めご了承ください。
- ・ 液晶パネルは長時間同じ画像を表示していると残像（画面焼けの様な症状）が出たり、液晶パネルの寿命を縮めてしまう可能性があります。ご使用にならないときは必ず電源をお切りください。

■ 結露について

次のような場合には、本製品内部に水滴が生じる（結露する）可能性があります。

結露が生じたまま使用すると故障の原因になります。

- ・ 冷たい場所にあった本製品を、暖かい場所に移動したとき
- ・ 室温が急に上がった、または下がったとき
- ・ エアコンなどの冷風が、直接本製品にあたっているとき
- ・ 湿度の高い場所で使用したとき
- ・ 結露は、本製品やディスクを傷める原因となります。結露がおきそうな場合は本製品をすぐに使用せず、2～3時間放置した後でご使用ください。

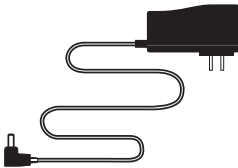
■ 免責事項に関するご注意

次のような場合、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

- ・ 自然災害、当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故によって生じた損害
- ・ お客様の故意または過失、誤用、その他通常でない条件下で使用したことによって生じた損害
- ・ 取扱説明書に記載された内容を守らないことによって生じた損害
- ・ 取扱説明書に記載されていない接続機器、部品、メディア、ソフトウェアを使用したことによって生じた損害
- ・ 本製品の使用または使用不能によって生じた不利益または損害（事業利益の損失、事業の中断など）

付属品一覧

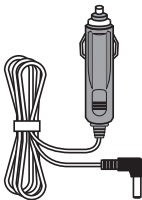
本製品をご使用いただく前に、以下の内容物がすべてそろっていることをご確認ください。



ACアダプター



AV接続ケーブル

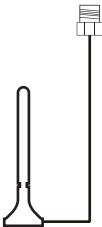


DCアダプター (カーライター用)
※ 12Vマイナスアース車専用



リモコン

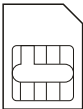
※挿入されているリモコン用電池 (CR2025)は動作確認用です。



アンテナ



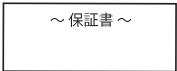
テレビコネクター



mini B-CASカード



取扱説明書
(本書)



保証書

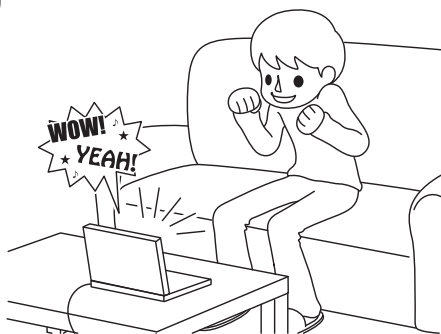
はじめに

こんなことができます

DVD・CD を再生する

DVD・CD で、映画や音楽、写真が楽しめます。

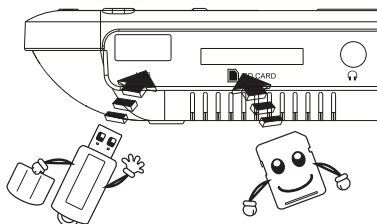
本書 21 ページの
「基本的な操作」をご覧ください。



外部メディアを再生する

USB メモリーや SD メモリーカードなど外部メディアの動画や音楽、写真が楽しめます。

本書 30 ページの
「外部メディアを再生する」をご覧ください。

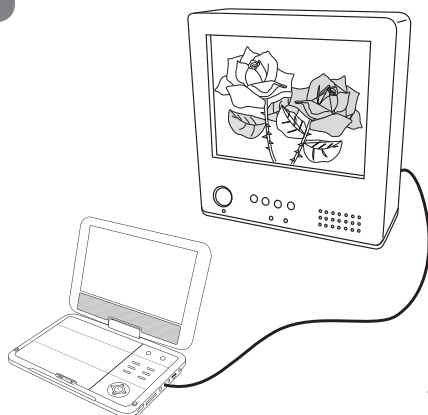


こんなことができます

他の AV 機器に出力する

本製品で再生中の映像・音声をテレビなどの他の AV 機器に出力することができます。

本書 32 ページの
「他の AV 機器と接続する」をご覧ください。



再生できるディスク・メディア

再生できるディスク・メディア

本製品では、以下のディスク・メディアが再生できます。

ディスク名称、メディア名称	特徴・記録内容	ディスクのサイズ
DVD ビデオ	映画などの市販ソフト	12cm
DVD ± R/RW / ± R DL、CPRM ※	地上波デジタル、アナログ放送などを録画したディスク MP3、JPEG、MPEG4 などパソコンで保存した音楽・画像・動画ファイル	
音楽用 CD	音楽などの市販のソフト	
CD-R/RW	CD-DA フォーマットで記録されたディスク、一部の VCD、 MP3、JPEG、MPEG4 などパソコンで保存した音楽・画像・動画ファイル	
USB メモリー	パソコンなどで保存した音楽、画像、 動画ファイル	—
SD メモリーカード		

こんなことができます

- ・ 8cm の CD・DVD には対応していません。
- ・ 上記のディスク・メディアであっても、本製品との相性、データの作り方によっては再生できない場合があります。
- ・ 本製品は CPRM 方式で記録されたディスク (DVD ± R/RW / ± R DL) を再生することができます。
- ・ VCD (ビデオ CD) : 動画が収録されている CD の再生について、一部の製品においてデータやフォーマットが適合しないことで再生できないものがありますのでご了承ください。
- ・ 最新の映画 DVD 等の市販ディスクでは高度な処理を DVD 再生機器に要求するものがあり、本製品では一部再生できないものがありますのでご了承ください。

※ ファイナライズ 処理を行わないと再生できません。

詳しくはディスクに録画 / 記録を行った DVD レコーダーやパソコンの取扱説明書をご覧ください。

再生できるファイル

本製品では、以下のファイルが再生できます。

ファイル形式	記録内容
MPEG4	動画＋音声 拡張子「.avi」のファイルなど
MP3	音声 再生可能ビットレート 320kbps 以下
JPEG	画像

- ・上記のファイルであっても、本製品との相性、データの作り方（画質や画像の大きさ、再生ビットレートなど）によっては再生できない場合があります。
- ・CD-R/RW、DVD ± R/RW / ± R DL ディスクなどは信頼性の高い製品をご使用ください。粗悪なディスクを使用した場合は、再生が正常に行えない場合があります。
- ・パソコンでディスクを作成する場合には「DVD プレーヤーで使用する」という方法で記録してください。記録後にファイナライズを行わなければ本製品で使えない場合があります。

デジタル放送を録画したディスク

デジタル放送を録画したディスクを再生するときは、次のことに注意してください。

- ・再生開始の際にコピー制御による認証動作が必要のため、通常のディスクより読み込みに時間がかかります。故障ではありませんので、そのままお待ちください。
- ・デジタル放送を録画したディスク (CPRM 方式) を本製品で再生させるには、必ず録画を行ったレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理の方法はレコーダーの説明書をお読みください。
- ・AVCHD、AVC Rec、HD Rec 方式で録画されたディスクには対応していません。

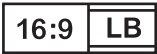
ディスク、外部メディアの取り扱い

ディスク、外部メディアの破損や機器の故障の原因になりますので、次のことを必ずお守りください。

- ・変形しているディスク、割れていたりひびの入っているディスクを使用しないでください。
- ・シールやラベルが貼ってあるディスクを使用しないでください。
- ・ディスクに鉛筆やボールペンなどで書き込みをしないでください。
- ・ディスクをシンナー、ベンジン、アルコールなどで拭かないでください。
- ・ディスクやメディアの使用後はケースに収めてください。
- ・ディスクやメディアを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- ・ディスクやメディアを直射日光の当たる場所や、高温になる場所に保管しないでください。

DVD パッケージの表示

DVD ディスクやパッケージには、下表のようなマークが表示されています。

マーク	名称	意味
	リージョンコード	DVD の再生可能地域を表しています。本製品ではリージョンコードが「2」または「ALL」と表記されているディスクが再生可能です。
	字幕	DVD に収録されている字幕の数を表しています。【字幕】ボタンまたは DVD メニュー画面で字幕を切り換えることができます。
	音声	DVD に収録されている音声トラックの数を表しています。【音声】ボタンまたは DVD メニュー画面で音声を切り換えることができます。
	マルチアングル	DVD に収録されているアングルの数を表しています。複数のアングルが収録されている場面では【アングル】ボタンでアングルを切り換えることができます。
	画面アスペクト	DVD に収録されている映像のアスペクト比（画面の横と縦の比）を表しています。接続するテレビの種類にあわせて設定することができます。

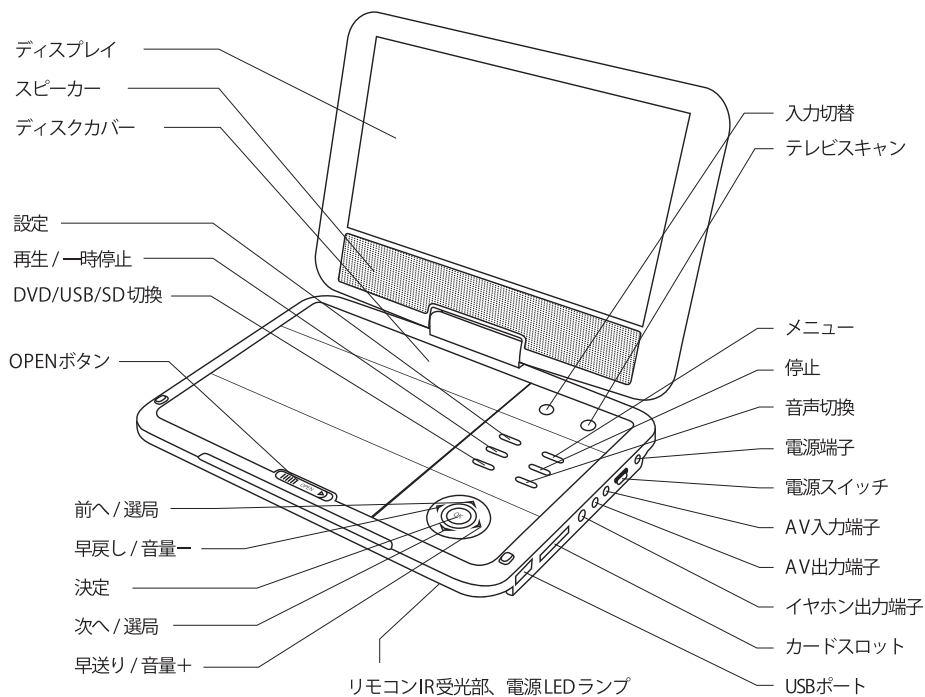
リージョンコードについて

本製品はリージョンコード「2」または「ALL」の DVD に対応するよう設計されています。リージョンコードが異なると、その DVD は再生することができません。上記のマークがリージョンコード「2」および「ALL」のマークですので、このマークが DVD のパッケージ裏面に記載されていることをお確かめください。

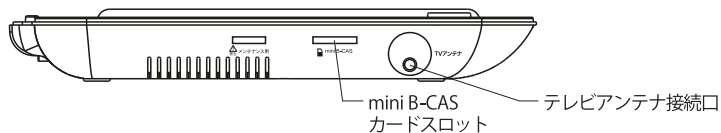
こんなことができません

各部の名称

本体



左側面



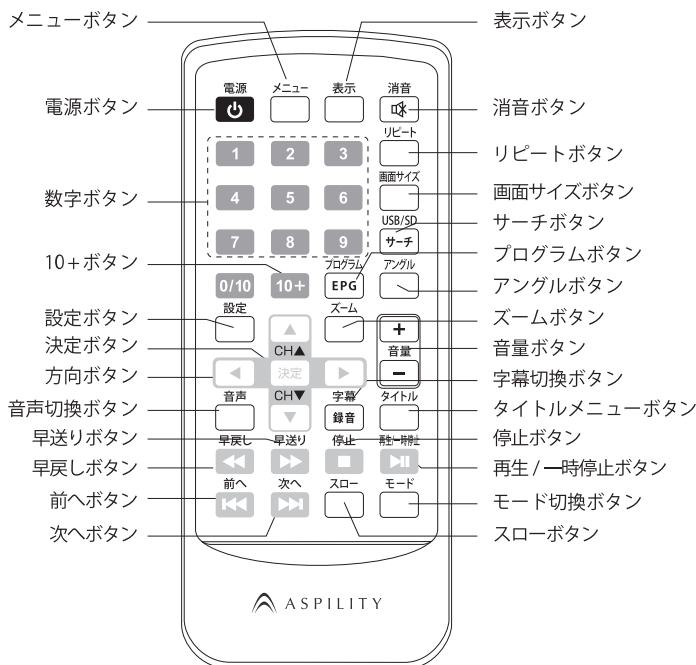
各部説明

ディスプレイ・・・ P8、20
 スピーカー・・・ P22、38
 ディスクカバー・・・ P17、21
 OPEN ボタン・・・ P17、21
 リモコンIR受光部・・・ P19
 電源LEDランプ、
 電源端子、電源スイッチ・・・ P18
 mini B-CASカードスロット、
 テレビアンテナ接続口・・・ P34

AV入力/出力端子・・・ P32
 イヤホン出力端子・・・ P32
 カードスロット・・・ P28、30、31
 USB ポート・・・ P28、30、31
 再生/一時停止ボタン・・・ P21、22
 停止ボタン・・・ P22
 前へ/次へボタン・・・ P23、26
 早戻し/早送りボタン・・・ P22
 入力切替・・・ P31、35
 テレビスキャン・・・ P35

準備する

リモコン



ボタン説明

電源ボタン・・・P18
 メニューボタン・・・P24
 表示ボタン・・・P24、26
 音量ボタン・・・P23
 消音ボタン・・・P22
 数字ボタン・・・P25、26、27、41
 リピートボタン・・・P24、26
 画面サイズボタン・・・P24、26
 サーチボタン・・・P25、26
 プログラムボタン・・・P25、27
 10+ボタン・・・P23、26

アンゲルボタン・・・P24
 ズームボタン・・・P24
 設定ボタン・・・P37～41
 音声切換ボタン・・・P23
 字幕切換ボタン・・・P23、28
 タイトルメニューボタン・・・P24
 早戻し / 早送りボタン・・・P22
 前へ / 次へボタン・・・P23、26
 再生 / 一時停止ボタン・・・P21、22
 停止ボタン・・・P22
 モード切換ボタン・・・P31、35

レンズ保護カバー

はじめてお使いになるときは、下記の要領でレンズ保護カバーを取り外してください。
その後、18 ページの「電源の接続」をご覧ください。

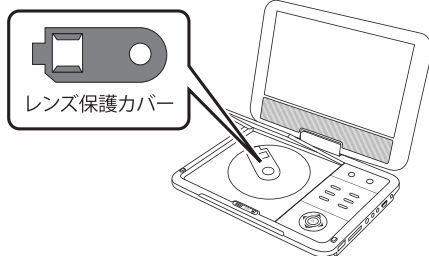
レンズ保護カバーの取り外し



ポイント

本製品にはピックアップレンズの保護を目的として「レンズ保護カバー」が装着されています。ご使用いただく前に必ずレンズ保護カバーを取り除いてください。装着したまま電源を入れた場合、故障やお客様のディスクを破損させる原因となります。

※ レンズ保護カバーの形状はイラストと異なる場合がございます。

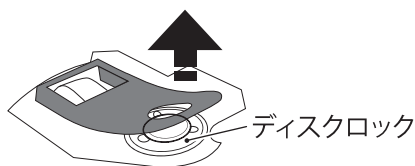


1 本体の OPEN ボタンを押します。

ディスクカバーが開きます。

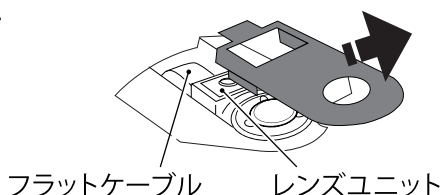


2 ディスクロックからレンズ保護カバーを上方向へ外します。



3 レンズ保護カバーをゆっくりと矢印の方向へ取り去ります。

レンズユニットやフラットケーブルを傷つけないように十分注意してください。



準備する

電源の接続

本体主電源スイッチについて

使用電源	主電源ON ACアダプター DCアダプター 内蔵バッテリー	主電源OFF
スイッチの位置	 切-電源-入	 切-電源-入

電源のスタンバイ

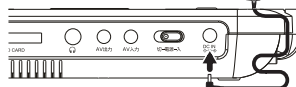
リモコンの【電源】ボタンを押します。

- ・この状態（スタンバイ）では、リモコンでの電源 ON 操作のみ有効です。
- ・本製品を使用しないときは、本体の主電源スイッチを OFF にしてください。

AC アダプターを使用する

- 1 本体側面の電源端子に同梱の AC アダプターを接続します。
- 2 本体の電源スイッチを「①電源オン」にします。
・本体の電源 LED が緑色に点灯します。

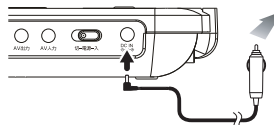
電源プラグをコンセントに差し込んでください。



DC アダプターを使用する

- 1 本体側面の電源端子に同梱の DC アダプター（アクセサリソケット用）を接続します。
・DC アダプターは 12V のマイナスアース車専用です。プラスアース車や 24V 車でのご使用は故障の原因になりますのでおやめください。
- 2 本体の電源スイッチを「①電源オン」にします。
・本体の電源 LED が緑色に点灯します。

車内のアクセサリソケットに差し込んでください。



※車載のアクセサリソケットへ無理な力を加えながら抜き差しを行うと破損する原因となりますのでご注意ください。

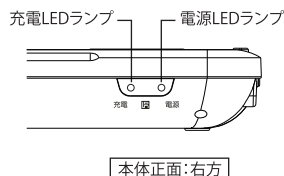
内蔵バッテリーについて

電源端子に AC アダプターを接続すると、自動的に内蔵バッテリーに充電されます。

充電中は本体正面の充電 LED ランプが赤色に「点灯」します。
充電が終了すると充電 LED ランプは緑色に「点灯」します。

※充電中も、DVD や CD の視聴ができます。

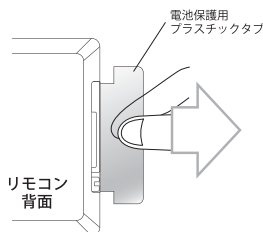
※充電時間・・・4 時間（目安） 充電時間は環境などによって変わります。



リモコンについて

はじめてリモコンを使う

はじめてリモコンを使用するときには、リモコン下部にある透明な電池保護シート（プラスチックタブ）を引き抜いてから使用してください。



リモコンの使い方

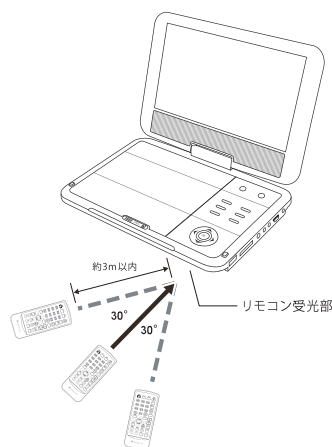
リモコンを使用する際は、本体受光部から約3m以内、下左右に各30度以内の範囲から操作するようにしてください。

リモコンの発信部とリモコン受光部の間に信号を遮るものがないようにしてください。

受光部が直射日光や強い光にさらされていると、リモコンが正常に作動しない場合があります。その場合は、光が当たらないようにする、リモコンの角度を変える、受光部に近づけて操作するなどしてください。

< 注意 >

本製品の構造上、リモコン受光部が少し下向きに設置されています。リモコンで操作をする場合には本製品の下の方からリモコン受光部へ向けて操作していただきますと速やかな操作が可能です。



準備する

電池の入れ方

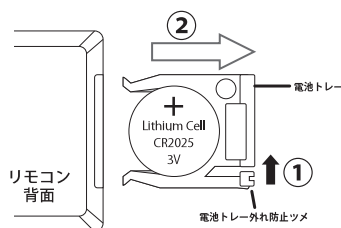
1 電池トレイを取り出します。

①の部分指で押さえながら②矢印の方向にスライドさせて電池トレイを取り出します。

2 電池を入れます。

⊕ ⊖ を正しく入れてください。

3 電池トレイを挿入します。



※ 挿入されている電池は動作確認用です。
使用するには新しい電池を用意してください。

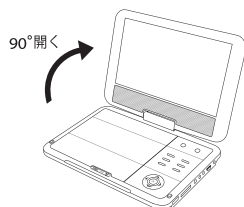
ディスプレイについて

ディスプレイの回転

本製品は、ディスプレイ部を視聴 / 設置状況に応じて回転させることができます。

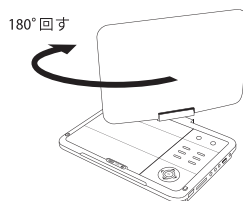
1 ディスプレイを 90° 開きます。

画面を 100° 以上開くと、画面の重みで背面へ倒れてしまう可能性があります。画面を 100° 以上開いて視聴する場合は、以下のように画面部分を回転させて視聴してください。



2 図のように時計回りに 180° 回すことができます。

反時計回りには 90° しか回転しません。
ディスプレイを回すときには、無理な力をかけると本体のヒンジ部分や液晶画面が破損してしまう可能性がありますので注意して画面を回転させてください。



3 ディスプレイをたたむこともできます。

IR 受光部が視聴画面の後ろになり、リモコン信号が効きにくくなりますのでご注意ください。



ポイント

- ディスプレイを 180° 回転させると IR 信号受光部や操作ボタンが画面の前面から見えなくなり、不意にボタンを押してしまうことで操作してしまうことを防ぐことができます。
- 上からディスプレイを見下ろすような設置をした場合に画面の角度調整を安定しておこなえます。

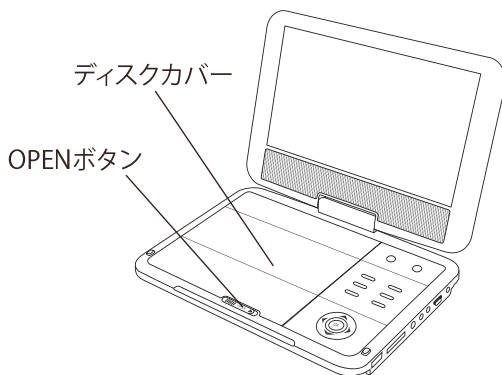
基本的な操作

はじめてお使いになるときは、17ページをご覧ください。レンズ保護カバーを取り外してください。

ディスクの挿入と再生

1 本体の OPEN ボタンを押します。

ディスクカバーが開きます。



2 ディスクをセットします。

ディスクのレーベル面を上にして、中央のディスクロックにカチッと音がするまではめ込みます。
※強く押し込まないでください。故障や破損の原因になります。

3 ディスクカバーを閉めます。

ディスクカバーを閉めると、画面に【読込中】と表示された後、自動的に再生が始まります。



ポイント

- 一部のディスクでは、自動で再生がはじまらないものがあります。
その場合には【再生 / 一時停止】ボタンや【決定】ボタンを押すと再生がはじまります。
- メニュー画面から再生がはじまる DVD の場合は【メニュー】ボタンを押すとメニュー画面が表示されますので、方向ボタンで項目を選択して【決定】ボタンを押してください。
- DVD、CD に共通の基本的な操作については、次ページからご覧ください。
- DVD のみの操作については、23 ページからご覧ください。
- CD のみの操作については、26 ページをご覧ください。

※リモコンの「決定ボタン」（各項目を決定するボタン）と同じ本体のボタンは【OK】ボタンです。

一時停止

再生中に【再生 / 一時停止】ボタンを押します。
再生が一時停止します。
もう一度【再生 / 一時停止】ボタンを押すと、
再生が始まります。

停止

再生中に【停止】ボタンを押します。
再生が停止し、画面に「再生キーを押し、継続。」
と表示されます。

- ・ 停止した場面からもう一度再生する場合は
【再生】ボタンを押します。
- ・ 完全に再生を終了する場合は、
もう一度【停止】ボタンを押します。

音量の調整

音量ボタンで音量調整ができます。
0～20の間で音量調整ができます。

消音

【消音】ボタンを押します。
音声が消え、画面に「消音」と表示されます。
消音前の音量に戻すには、もう一度【消音】ボ
タンを押します。（「消音オフ」と表示されます。）

早送り

再生中にリモコンの【早送り】ボタンを押します。

- ・ 通常再生の2倍の速度（2倍速）で早送り再生が
開始して画面に「▶▶ 2x」と表示されます。
- ・ 通常の再生に戻すには【再生】ボタンを押します。
- ・ 2倍速で早送り中にもう一度【早送り】ボタンを
押すと、画面に「▶▶ 4x」と表示され、4倍の
速度で早送り再生されます。
【早送り】ボタンを押すごとに早送り速度が増し、
最大 32 倍速で早送り再生ができます。
- ・ 32 倍速で早送り中にもう一度【早送り】ボタン
を押すと、通常再生に戻ります。

早戻し

再生中にリモコンの【早戻し】ボタンを押します。

- ・ 通常再生の2倍の速度（2倍速）で早戻し再生
が開始して、画面に「◀◀ 2x」と表示されます。
- ・ 通常の再生に戻すには【再生】ボタンを押します。
- ・ 2倍速で早戻し中にもう一度【早戻し】ボタン
を押すと、画面に「◀◀ 4x」と表示され、4
倍の速度で早戻し再生されます。
【早戻し】ボタンを押すごとに早戻し速度が増
し、最大 32 倍速で早戻し再生ができます。
- ・ 32 倍速で早戻し中にもう一度【早戻し】ボタ
ンを押すと、通常再生に戻ります。

DVD の操作

音声の切り換え

再生中に【音声】ボタンを押します。

音声チャンネルが切り換わり、再生している音声チャンネル名が画面に表示されます。

- ・表示は約 5 秒後に消えます。
- ・3 種類以上の音声チャンネルが収録されている場合は、音声切換ボタンでお好みの音声チャンネルに切り替えてください。
- ・音声切り換えに対応していない DVD では、操作は無効となります。
- ・一部の DVD では、タイトル画面またはメニュー画面から音声を切り換えてください。

字幕の切り換え

再生中に【字幕】ボタンを押します。

字幕チャンネルが切り換わり、再生している字幕チャンネル名（または「字幕オフ」）が画面に表示されます。

- ・表示は約 5 秒後に消えます。
- ・3 種類以上の字幕チャンネルが収録されている場合は、字幕切換ボタンでお好みの字幕チャンネルに切り替えてください。
- ・字幕切り換えに対応していない DVD では、操作は無効となります。
- ・一部の DVD では、タイトル画面またはメニュー画面から字幕を切り換えてください。

チャプターのスキップ

再生中に【次へ】ボタンを押します。

再生画面（シーン）が 1 つ先のチャプターに移動します。

再生中に【前へ】ボタンを押します。

再生画面（シーン）が 1 つ前のチャプターに移動します。

※ ディスクによっては【前へ】ボタンを 1 回押すと再生中のチャプターの先頭から再生するものがあります。その場合は【前へ】ボタンを 2 回押すと 1 つ前のチャプターに移動します。

※ ディスクによって動作が変わる場合があります。

チャプターを選択して再生

- 1 再生中に【メニュー】ボタンを押します。
DVD のメニュー画面が表示されます。
- 2 方向ボタンを使って「チャプター」を選択して【決定】ボタンを押します。
チャプターの選択画面が表示されます。
- 3 方向ボタンを使って再生を始めたい「チャプター」を選択後【決定】ボタンを押します。
選択したチャプターから再生が始まります。



ポイント

チャプターを選択して再生する操作は、DVD によって異なります。

ここでは、DVD のメニュー画面から選択する操作を説明しています。

チャプター番号を指定して再生

再生中に数字ボタンを使って移動したいチャプター番号を指定します。
選択したチャプターから再生が始まります。



ポイント

- ・「11」以上のチャプター番号を指定したい場合は、【10+】ボタンを使います。
- ・入力例：
「14」を選ぶ場合→【10+】【4】と押します。
「24」を選ぶ場合→【10+】【10+】【4】と押します。
「20」を選ぶ場合→【10+】【10+】【0/10】と押します。
- ・再生中の DVD がないチャプター番号を指定した場合は、操作が無効となります。

※ ディスクによって動作が変わる場合があります。

メニュー画面へ移動

再生中に【メニュー】ボタンを押します。
DVD のメニュー画面が表示されます。



ポイント

- 映画などを見ている途中に、ボタンひとつでメニュー画面へ移動します。
- 一部の DVD では【タイトル】ボタンを押してタイトル画面を表示して、各種メニューを選択するものがあります。

くり返し再生

再生中に【リピート】ボタンを押します。

ボタンを押すたびに下記のような種類のリピートモードに切り替わります。

→ チャプター	選択したチャプターがくり返し再生されます
↓	
タイトル	選択したタイトルがくり返し再生されます
↓	
オール	ディスクのすべてがくり返し再生されます
↓	
表示なし	通常の再生に戻ります

アングルの切り換え

再生中に【アングル】ボタンを押します。

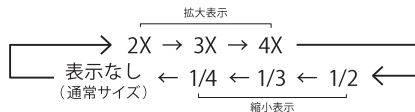
映像のアングルが押すたびに切り換わります。

- ・【アングル】ボタンを押すと、切り換えができるアングルの数と、再生しているアングルの番号が表示されます。
- ・アングル切り換えに対応していない DVD では、操作は無効となります。アングル切り換えに対応している DVD の場合は、パッケージの表示で確認できます。

ズームの切り換え

再生中に【ズーム】ボタンを押します。

押すたび画面の表示倍率が切り換わり、現在の倍率が画面に表示されます。



- ※ 表示される倍率は実際の倍率とは異なり目安です。
- ※ 拡大表示されているときには拡大範囲が表示され【▲】【▼】【◀】【▶】を押して画像を移動することができます。
- ※ ディスクによってはこの機能は使えません。

再生情報の表示

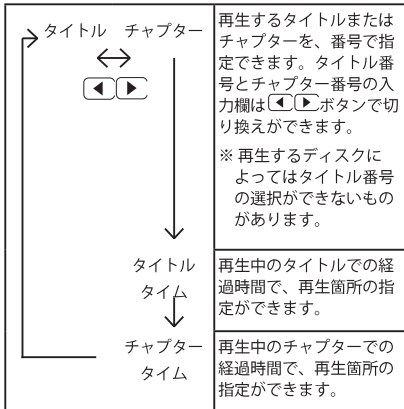
再生中に【表示】ボタンを押します。

再生中のディスクの再生状況が表示されます。
再生中のタイトル番号、チャプター番号および再生時間が表示されます。
表示ボタンを押すたびに、再生時間表示は次のように切り換わります。

→ タイトル経過時間	再生中のタイトルでの経過時間を示します。
↓	
タイトル残り時間	再生中のタイトルでの残り時間を示します。
↓	
チャプター経過時間	再生中のチャプターでの経過時間を示します。
↓	
チャプター残り時間	再生中のチャプターでの残り時間を示します。
↓	
表示オフ	再生情報を表示しません

場面を時間で指定して再生

- 再生中に【サーチ】ボタンを押します。
タイトル/チャプターの入力行が画面に表示されます。
【サーチ】ボタンを押すたびに、入力行の表示は次のように切り換わります。



- リモコンの数字ボタンを使って下記の各時間を指定します。
 - ・タイトル番号
 - ・チャプター番号
 - ・タイトル経過時間またはチャプター経過時間

※ 再生するディスクによってはタイトル番号の選択ができないものがあります。
- 指定した場面から再生が始まります。

プログラム再生

- 再生中に【プログラム】ボタンを押します。
プログラム再生ウィンドウが画面に表示されます。
- 方向ボタンおよびリモコンの数字ボタンを使って、タイトル番号とチャプター番号を入力します。
- 方向ボタンを使って[スタート]を選択し、【決定】ボタンを押します。
一番に指定したチャプターからプログラムの順に再生が始まります。
 - ・デジタル放送を録画したディスクのプログラム再生はできません。
 - ・20番目までプログラム再生の設定ができます。

プログラム再生の解除

- 【プログラム】ボタンを押して「プログラム再生ウィンドウ」を表示します。
- 方向ボタンを使って[STOP]を選択し【決定】ボタンを押して設定内容を削除します。
- [終了]を選択し【決定】ボタンを押します。
現在のシーンから通常の再生が続きます。
 - ・設定内容を削除せずに[終了]を選択すると、再びプログラム再生に戻ります。

再生する

CD の操作

トラックのスキップ

再生中に【次へ】ボタンを押します。
次のトラック(曲)に移動します。

再生中に【前へ】ボタンを押します。
前のトラック(曲)に移動します。

トラック番号を指定して再生

再生中に、リモコンの数字ボタンを使って移動
したいトラック番号を指定します。

選択したトラックから再生が始まります。

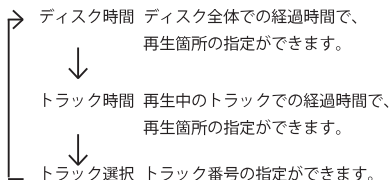


ポイント

- ・「11」以上のチャプター番号を指定したい場合は、
【10+】ボタンを使います。
- ・入力例：
「14」を選ぶ場合→【10+】【4】と押します。
「24」を選ぶ場合→【10+】【10+】【4】と押します。
「20」を選ぶ場合→【10+】【10+】【0/10】と押します。
- ・再生中の CD がないチャプター番号を指定した場合は、
操作が無効となります。

時間 / トラックを指定して再生

- 1 再生中に【サーチ】ボタンを押します。
ディスクサーチの経過時間の入力画面が表示されます。
【サーチ】ボタンを押すたびに、入力画面の
表示は次のように切り換わります。

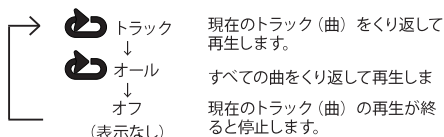


- 2 リモコンの数字ボタンを使って
「ディスク経過時間」「トラック経過時間」
「トラック番号」を指定します。
- 3 指定した経過時間またはトラックから再生
が始まります。

くり返し再生

再生中に【リピート】ボタンを押します。

くり返し再生の方法が切り換わり、現在の状態
が画面に表示されます。【リピート】ボタンを押
すたびに、表示は次のように切り換わります。

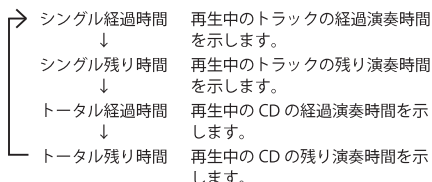


再生情報の表示

再生中に【表示】ボタンを押します。

再生中ディスクの再生状況とトラックの演奏時
が表示されます。

表示ボタンを押すたびに、演奏時間表示は
次のように切り換わります。



※ 再生直後に「シングル経過時間」は表示されませんが、
画面表示ボタンを数回押すことで約5秒間表示します。

プログラム再生

- 1 再生中に【プログラム】ボタンを押します。
プログラム再生ウインドウが画面に表示さ
れます。
- 2 方向ボタンまたは数字ボタンを使って、
トラック番号を入力します。
- 3 方向ボタンを使って「開始」を選択し、
【決定】ボタンを押します。
一番に指定したトラックからプログラムの
順に再生が始まります。

プログラム再生の解除

- 1** 【プログラム】 ボタンを押して「プログラム再生ウインドウ」を表示します。
- 2** 方向ボタンを使って [停止] を選択し、
【決定】 ボタンを押して設定内容を削除します。
- 3** [終了] を選択し【決定】 ボタンを押します。
現在のトラックから通常の再生が続きます。
※設定内容を削除せずに [終了] を選択すると、再びプログラム再生に戻ります。

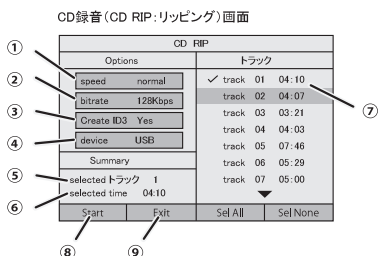
CD を録音する

※ 注意：録音に使用する外部メディアに重要なデータがある場合には、必ずバックアップ保存をしてから録音をしてください。

- ・ USB/SD に空き容量が無い場合は「Device full !」と表示されて録音できません。
- ・ 本製品では外部メディアに記録されているデータを削除することはできません。
- ・ 「CD RIP」画面が表示されていると音量調整ができません。
- ・ 音量が0や消音状態で録音をしても、再生時の音質や音量に影響ありません。
- ・ 録音中に音量調整はできません。「CD RIP」画面を表示する前に音量を調整しておいてください。
- ・ 本製品では録音を行うと、ファイル形式は MP3 で記録されます。
- ・ 容量の大きい外部メディアを接続すると、読み込みに時間がかかる場合があります。
- ・ 本製品ではフォルダ名やファイル名の入力にはできません。
- ・ 本製品では MP3 や WMA などのファイル形式のディスクからの録音はできない場合があります。市販の CD を録音するときに使用してください。

CD を USB/SD へ録音

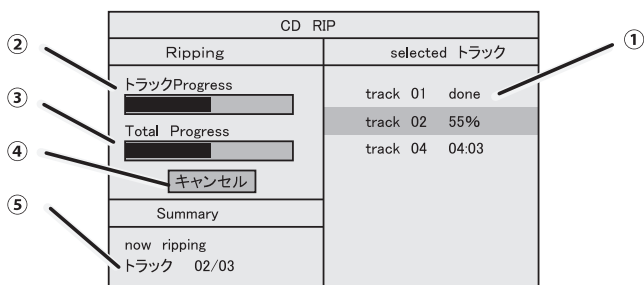
- 1 本体の電源を入れ、外部メディアを本体のスロットに差し込みます。
- 2 CD ディスクが挿入されている時に【字幕】ボタンを押すと「CD RIP」画面が表示されます（下図参照）



- ① speed 【決定】ボタンを押すたびに録音（リッピング）速度を切り換えることができます。
normal 通常速度：音楽を聞きながら録音します。
fast 倍速：音楽は聞こえませんが録音時間が短縮されます。
- ② bitrate 【決定】ボタンを押すたびにビットレートを変更できます。
ビットレートの数値が大きいほど高音質ですが、録音後のファイルサイズが大きくなります。
- ③ Create ID3 TAG 式ファイルを作成するかどうかの設定ができます。
- ④ device 録音先を USB または SD へ設定します。
- ⑤ selected track 選択した曲数を表示します。
- ⑥ selected time 選択した曲の合計再生時間を表示します。
- ⑦ CD に収録されているトラックリスト（曲数リスト）を表示します。
録音したい曲にカーソルを合わせて【決定】ボタンを押すと、左に「チェックマーク」が表示されます。
すべての曲を選択する場合は「Sel All」、すべての選択を取り消すには「Sel None」にカーソルを合わせて【決定】ボタンを押してください。
- ⑧ Start 録音したい曲を選択している場合にリッピングを開始します。
- ⑨ Exit リッピング画面を終了して CD 再生画面に戻ります。

3 「Start」を選択して【決定】ボタンを押してください。録音を開始します。

録音中



- ① 現在録音している曲数（トラックナンバー）を表示します。
- ② 曲（トラック）ごとの録音進捗状況を表示します。
- ③ 録音する総時間合計の録音進捗状況を表示します。
- ④ 録音中に決定ボタンを押すと録音を中止します。
- ⑤ 選択した曲（トラック）数と、現在録音した曲（トラック）数を表示します。

録音された曲（トラック）は「RIP_xxx (xxx は数字)」フォルダに保存されます。
ファイル名は「TRACK001」「TRACK002」… というように順番に番号が増えるようにファイル名を割り当てられて、記録 / 保存されます。

注意：すでに同じ曲が収録されていても、録音操作を行うたびに「新しい曲（トラック）」として新しいファイル名で録音 / 保存されます。
記録可能なフォーマットは FAT または FAT32 です。
記録するメディアが記録可能なフォーマットでは無い場合は記録できません。
動作が上記の画面で一時停止しますので、リッピングが0%のまま進行しない場合は記録メディアのフォーマットを確認してください。

途中で録音を中止したい場合は、決定ボタンを押してください。

録音が終わると「CD RIP」画面に戻ります。

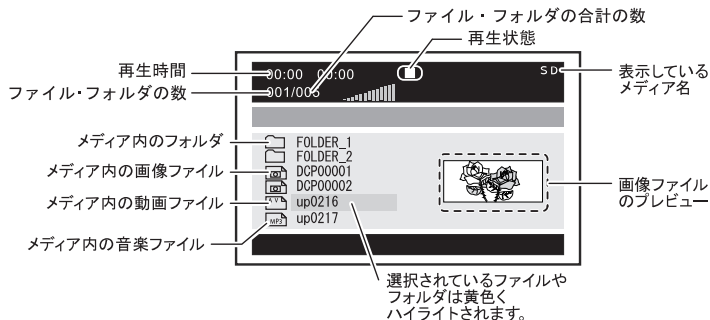
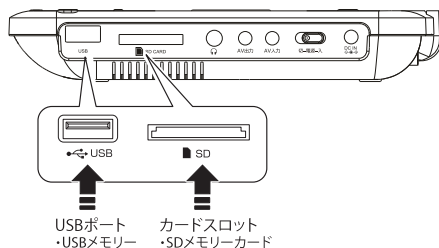
CD の録音を終了するには CDRIP 画面が表示されている時に「Exit」にカーソルを合わせて【決定】ボタンを押してください。

外部メディアを再生する

本製品では、外部メディア「SD (SDHC) メモリーカード」「USB メモリー」に保存したデータを再生できます。※ DVD 再生画面でのみ外部メディアへ切り換えることができます。

外部メディアの再生

- 1 本体の電源を入れ、外部メディアを本体の
スロットに差し込みます。
- 2 【モード切換】ボタンを押して、再生したい
メディアへ切り換えます。
USB ポートが優先して表示されます。
- 3 画面に外部メディア内の「フォルダ名」と
「ファイル名」が表示されます。



- ・ 方向ボタンで再生したいファイルを選択し【決定】ボタンを押します。
- ・ 音楽ファイル (MP3)、動画ファイル (MPEG4) を再生した場合は「早送り」「巻き戻し」「一時停止」の操作が可能です。
- ・ 画像ファイル (JPEG) を再生した場合はスライドショーが始まります。
- ・ スライドショー中に【メニュー】ボタンを押すと、上記の「ファイル一覧画面」に戻ります。
- ・ ファイル名は半角17文字まで表示します。
- ・ ファイル名を半角英数字以外の文字で記録すると、違う文字で表示されることがあります。
- ・ ファイル名を半角で設定しても、記録した機器との相性により正常に表示されない場合があります。
- ・ 使用する外部メディアのフォーマットは、FAT または FAT32 で行ってください。
- ・ USB ポートとカードスロットへ各メモリーを同時に挿すと、USB ポートのものが優先して表示されます。もう一度【モード切換】ボタンを押すとカードスロットの内容が表示されます。
- ・ USB ポートとカードスロットに何も挿入されていないときに【モード切換】ボタンを押すと「デバイスが見つかりません」という表示になり、ディスク画面に戻ります。

外部メディアの取り外し

1 【停止】 ボタンを押して、再生を停止します。

2 【モード切換】 ボタンを押して DVD を選択します。
外部メディアが使用されていないことを確認して取り外します。

※ 本製品が対応できるメモリーカード、USB メモリーの最大容量は 8GB までです。

※ 以下のメモリーカードは別途市販のアダプターが必要です。

• mini SD • micro SD

※ SD カードや USB メモリーを再生中に抜き差しをしないでください。

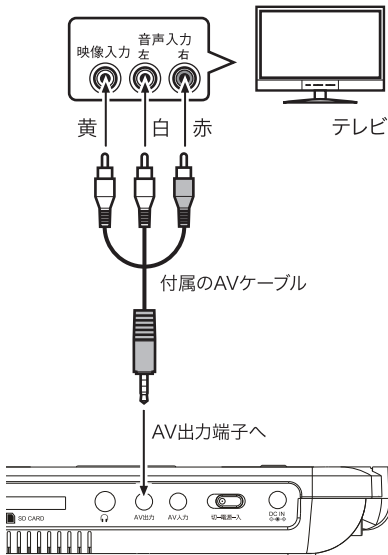
収録されているデータが破損する可能性があります。

DVD などのディスクの再生にも悪い影響が表れる可能性があります。

他のAV機器と接続する

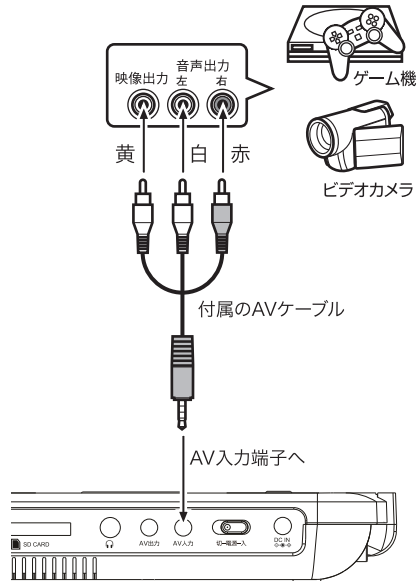
外部 AV 機器への出力

本製品で再生中の映像・音楽をテレビなど他の AV 機器へ出力することができます。接続の詳細は外部機器の取扱説明書を参照してください。



外部 AV 機器からの入力

ゲーム機やビデオカメラの映像を本製品の画面へ入力することができます。接続の詳細は外部機器の取扱説明書を参照してください。



※接続した AV 機器の音量調整については、ポータブル DVD プレーヤーでも行えますが、接続した AV 機器でも音量調整を行ってください。本体の音量を 0 にすると AV 機器への音声出力も 0 になりますのでご注意ください。

イヤホンを使用する

イヤホン端子にイヤホンやヘッドホンを接続することで音声を聞くことができます。

端子形状：直径 3.5mm ミニステレオ端子 端子部分の長さ：約 15mm

※形状や長さが違うものを使用すると、音が聞こえなかったり故障や破損の原因になります。

※本製品に付属している AV 接続ケーブルを誤って差し込まないように注意してください。

※イヤホンを接続すると本製品のスピーカーから音声が出られなくなります。

※使用するイヤホンやヘッドホンとの相性により正常な音声聞こえないことがあります。

※モノラルイヤホンでは音声聞こえないことがあります。

※イヤホン端子からヘッドホンや外部機器（スピーカー等）へ接続した場合に、音量が小さい状況だとノイズ（雑音）が聞こえることがあります。仕様ですのでご了承ください。

テレビを見る

フルセグ・ワンセグ放送

本製品は地上波デジタルフルセグ・ワンセグチューナーを内蔵しています。屋外や車で地上波デジタル放送と同じ内容の番組を見ることができます。

■字幕サービス

本製品は字幕情報が含まれる番組で、字幕を表示しながら番組を見ることができます。

■電子番組表EPGの表示

本製品は EPG (電子番組表) の機能を搭載しています。



注意

- フルセグ・ワンセグ放送は視聴対応地域のみで視聴できます。
- 視聴可能地域においても環境等により受信状態が悪くなったり、受信できない場合があります。
- 本製品はフルセグ・ワンセグ放送が開始されている地域、電波の届く範囲で視聴できます。
- フルセグ・ワンセグ放送のエリア内であっても地形や建物などによって電波がさえぎられる場所や、電波の弱いところ、トンネル、地下、建物の中など、電波の届かない場所ではフルセグ・ワンセグ放送は受信できない場合があります。
- フルセグ・ワンセグ放送は複数の放送局（中継局含む）によってサービスされているため、電車や車などで移動しながら受信している場合は、異なるエリアに入ると受信チャンネルが変わることがあります。その場合はチャンネルの再設定の必要があります。
- 本製品のフルセグ・ワンセグチューナーは日本国内専用のため、フルセグ・ワンセグ以外の放送は視聴できません。
- 本製品はデータ放送、緊急警報放送、番組予約録画には対応していません。
- 受信できる放送局の電子番組表を同時に表示させることはできません。
- ワンセグ放送は移動端末向けの低解像度映像のため、大きな画面では画像が粗くなります。
- ワンセグ放送は地上波デジタル放送、地上波アナログ放送に比べ数秒程度音声や映像が遅れます。時報なども同様に遅れますのでご注意ください。
- フルセグ・ワンセグ放送視聴中は他のモニターと接続しても映像は出力されません。
- ワンセグ放送の受信と建物の屋上に設置したアンテナを接続するフルセグ地上波デジタル放送では、同一場所でも受信状態が異なります。また、使用する受信機によっても受信状態が変わります。
- 本製品のフルセグ・ワンセグ放送は設定によりフルセグとワンセグの優先受信を変更することができますが、放送の特性でフルセグ放送よりもワンセグ放送のほうが受信しやすくなっています。
- フルセグ放送が受信困難な環境の場合、受信設定をワンセグの受信を優先にしておいてください。
- 受信感度が足りない場合は外部アンテナを接続してください。

■地上波デジタル放送の受信地域について

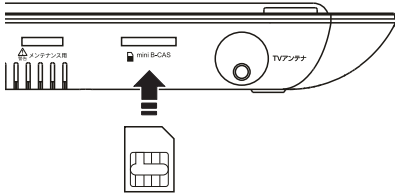
地上波デジタル放送の受信地域と開局については、下記 URL からご確認ください。

一般社団法人デジタル放送推進協会 : <http://www.dpa.or.jp/>

フルセグ・ワンセグ受信準備

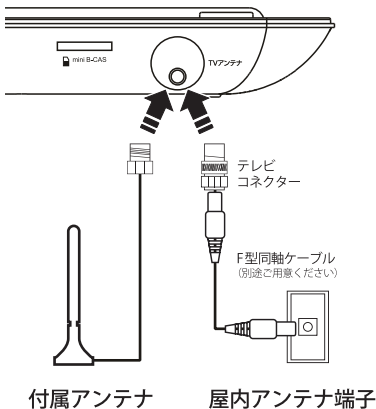
1 mini B-CASカードを入れる

本製品の側面にあるカードスロットに、図の方向で挿入します。奥までしっかりと差し込んでください。



2 アンテナを接続する

TV放送を受信するためには、必ずアンテナを接続する必要があります。下記のいずれかのアンテナをつけてください。アンテナは入力端子に奥までしっかり挿し込んでください。



テレビを見る

- ※付属アンテナは受信感度が良い場所に設置してください。
- ※屋内アンテナ工事には専門的な知識と技術が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
- ※アンテナ線を接続するときは、必ず本体の電源プラグを抜いてください。
- ※アンテナ線は必ずF型同軸ケーブルを使用してください。
- ※アンテナ線にデジタル機器を近づけないでください。

mini B-CAS カード使用注意事項

- ・破損させないでください。
- ・金属端子部分には手を触れないでください。
- ・重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- ・水をかけたり、ぬれた手で触ったりしないでください。
- ・デジタル放送を視聴中に mini B-CAS カードを抜き差しすると故障の原因になるのでおやめください。
- ・表裏および挿入方向をよく確認し、カチッと音がするまで確実に挿入してください。
- ・mini B-CAS カードを取り外すときは、下記の手順で行ってください。
 - ①本体の電源プラグを抜く
 - ②mini B-CAS カードを軽く押し込む
 - ③指を離すと mini B-CAS カードの端が少し飛び出す
 - ④端をつまんで引き抜く

mini B-CAS カードについて

- ※地上デジタル放送を視聴するために本製品に付属されている mini B-CAS カードをご使用ください。
- ※mini B-CAS カードは本製品の付属品として、使用許諾契約約款が記載された台紙に添付されています。
- mini B-CAS カードの所有権は(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズに帰属します。
- 開封すると使用許諾契約約款に同意したとみなされますので、開封前に使用許諾契約約款をよくお読みください。
- mini B-CAS カードの保証期間は、本製品のお客へのお引渡し完了から 3 年間です。詳しくは mini B-CAS カード使用許諾契約約款をご覧ください。
- 保証期間後に mini B-CAS カードを交換する場合は、カード発行費用がかかります。
- mini B-CAS カードの ID ナンバーは、画面上で確認できます。
- mini B-CAS カードを損壊、紛失した場合、B-CAS カスタマーセンターまでご連絡ください。

(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズ
B-CASカスタマーセンター
TEL：0570-000-250

3 フルセグ・ワンセグ放送局を探す オートスキャンで放送局を登録します。

- ① 本体の電源を入れる
- ② 本体の【入力切替】またはリモコンの【モード】ボタンを押して[TVモード]に切り替える
- ③ 本体の【テレビスキャン】またはリモコンの【サーチ】ボタンを押すと自動的に現在の場所の放送局を探し、自動で登録されます
- ④ オートスキャン終了後、  ボタンもしくはリモコンの数字ボタンで放送の視聴ができます。

■ オートスキャンで 放送局が見つからない場合

付属のアンテナの位置や向きを変えて再度オートスキャンを実行します。また、屋外 UHF アンテナの屋内アンテナ端子よりのアンテナ線（他社製別売）を UHF 変換アダプターを使って本製品に接続し再度オートスキャンを実行してください。

フルセグ・ワンセグ放送を受信する際のご注意

- 屋外 UHF アンテナの屋内アンテナ端子よりのアンテナ線（他社製別売）を UHF 変換アダプターを使って本製品に接続して地域のフルセグ・ワンセグ放送を登録して、付属のアンテナで放送が受信できない場合、本製品の不具合ではございません。一部地域や受信している場所の受信環境（電波が弱い、障害物があるなど）により、フルセグ・ワンセグ放送が受信できない場合があります。
- フルセグ・ワンセグ放送で使用している周波数は大変周波数が高く、直進する性質のため、障害物に弱い特徴があります。数十センチアンテナを移動する程度で受信状態が変化しますので、アンテナを窓際に置いたり位置を移動するなどして受信しやすい場所にてご使用ください。
- 製品付属のアンテナを金属製品の上に設置すると、アース効果により受信感度が上がります。

フルセグ・ワンセグの視聴

- 1 本体の電源を入れる
- 2 本体の【入力切替】またはリモコンの【モード】ボタンで[TVモード]に切り替える
- 3   もしくはリモコンの数字ボタンで放送の視聴ができます。

フルセグ・ワンセグの切り替え

- 1 TV 視聴中に【設定】ボタンを押し、[受信方法設定]を選択する
- 2 電波状況により、「フルセグ／ワンセグ／自動」から選択する
- 3 【停止】ボタンを押して戻る

チャンネルリストの表示

- 1 リモコンの【タイトル】ボタンを押し、オートスキャンでサーチされた放送局のリストを表示する
- 2 矢印ボタン     で選択して【決定】ボタンを押し、選択した放送局を表示する
- 3 【停止】ボタンを押して戻る

番組表の表示

- 1 【プログラム (EPG)】ボタンを押すと視聴中の放送局のリストが表示されます
- 2 矢印ボタン     で選択して【決定】ボタンを押し、選択した番組の詳細情報を表示します
- 3 【停止】ボタンを押して戻る

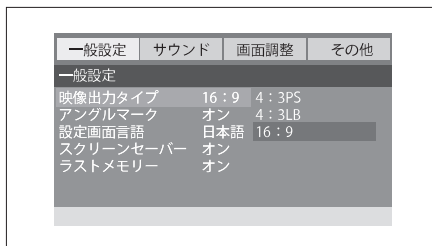
ボタン操作一覧

字幕を表示する	字幕 録音	リモコンの【字幕】ボタンを押すと、フルセグ・ワンセグの音声を字幕にて表示します。再度【字幕】ボタンを押すと表示が解除されます。
放送局の変更	▲ ▼ 164 選局  165 選局	本体またはリモコンの上下ボタンを押すと、受信している放送局を切り替えることができます。

一般設定

一般設定を変更することができます。

- 1 【設定】 ボタンを押して方向ボタン
◀▶で「一般設定」を選択し、
▼ボタンを押します。
- 2 方向ボタン▲▼で変更したい項目を選択して▶を押します。
- 3 方向ボタン▲▼で設定を選択して
【決定】 ボタンで決定します。
- 4 設定変更が完了したら【設定】 ボタンを押して終了します。



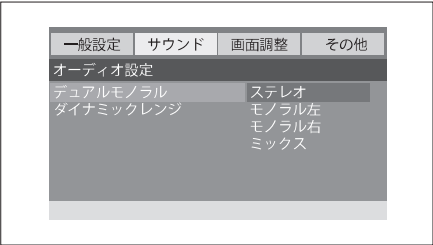
項目	設定	説明
映像出力タイプ	4:3 PS 4:3 LB 16:9	4:3PS パンスキャン 4:3 サイズの画面です。ワイド画面の映像は一部分をカットして、画面全体に表示します。 4:3LB レターボックス 4:3 サイズの画面です。ワイド画面の映像は上下に黒い帯が出ます。 16:9: 16:9 画面用の設定です。 ※一部の映像には適用されない場合があります。 ※この設定は AV 出力にも適用されます。
アングルマーク	オン オフ	オンにすると、ディスクがアングル切り換えに対応している場合に画面上にアングルマークのアイコン  が表示されます。
設定画面言語	英語 日本語	画面表示言語を日本語、英語から選択できます。
スクリーンセーバー	オン オフ	オンにすると、再生していない状態で約 3 分間操作を行わないとスクリーンセーバーが作動します。
ラストメモリー	オン オフ	オンにすると、ラストメモリーが設定され、ディスクを取り出しても次に再生したときに続きから再生されます。 また、CD や外部メディアを再生した後に元の DVD ディスクを再生しても有効です。 ラストメモリーの設定は次の場合に解除されます。 - 別の DVD ディスクを再生する - 本体、リモコンの停止ボタンを二度押してディスクを完全に停止させたとき

設定を変更する

サウンド

音声の各設定を変更することができます。

- 1 【設定】 ボタンを押して方向ボタン
◀▶で「サウンド」（オーディオ設定）を選択し、▼ボタンを押します。
- 2 方向ボタン▲▼で変更したい項目を選択して▶を押します。
- 3 方向ボタン▲▼で設定を選択して【決定】 ボタンで決定します。
- 4 設定変更が完了したら【設定】 ボタンを押して終了します。



項目	設定	説明
デュアルモノラル	ステレオ モノラル左 モノラル右 ミックス	ステレオ・モノラル左 / 右・ミックスのいずれかから選択できます。 お好みで設定してください。
ダイナミックレンジ	FULL～OFF	音声の出力特性を9段階で設定します。

- ※ 変更が適用されないディスクもあります。
- ※ 調整が微少で変化がわからない場合があります。

画面調整

画質の各設定を変更することができます。

- 1 【設定】 ボタンを押して方向ボタン
◀▶で「画面調整」を選択し、
▼ボタンを押します。
- 2 方向ボタン▲▼で変更したい項目を選択して▶を押します。
- 3 方向ボタン▲▼◀▶で設定を選択して【決定】ボタンで決定します。
- 4 設定変更が完了したら【設定】ボタンを押して終了します。



項目	設定・調整範囲	説明
鮮明度	高 中 低	鮮明度を [高][中][低] から選択できます。
明るさ	-16 ～ +16	画面の明るさを左記の調整範囲で設定できます。
コントラスト	-16 ～ +16	画面のコントラストを左記の調整範囲で設定できます。
彩度	-9 ～ +9	画面の彩度を左記の調整範囲で設定できます。
色調	-9 ～ +9	画面の色調を左記の調整範囲で設定できます。

※ 本製品の液晶画面を調整 / 設定 / 変更をすることができます。
AV ケーブルで接続した出力先の画質は変更できません。

その他

本製品の基本的な動作設定を変更することができます。

- 1 停止中に【設定】ボタンを押して、方向ボタン◀▶で「その他」の設定を選択し▼ボタンを押します。

・この設定項目を選択可能にするには、ディスクやメディアの再生を完全に停止した状態、またはディスクやメディアを本体から取り出した状態で実行してください。



- 2 方向ボタン▲▼で変更したい項目を選択して▶を押します。

- 3 方向ボタン▲▼で設定を選択して【決定】ボタンで決定します。

- 4 設定変更が完了したら【設定】ボタンを押して終了します。

項目	設定	説明
映像出力方式	PAL オート NTSC	カラー方式を「PAL」、「オート」、「NTSC」から選択できます。 * 日本は NTSC 方式です。
PBC	オン オフ	VCDの再生方法を選択します。必要に応じて設定してください。
音声設定	フランス語、スペイン語、中国語、日本語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、タイ語、英語	ディスクに複数の音声記録されている場合は、希望の音声言語を選択できます。 ※ここで設定した各音声記録されている場合に設定できます。 記録されていない場合は、記録されている言語が設定されます。
メニュー言語	英語、フランス語、スペイン語、中国語、日本語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、タイ語	ディスクに複数のメニュー言語記録されている場合は、希望のメニュー言語を選択できます。 ※ここで設定したメニューが記録されている場合に設定できます。 記録されていない場合は、記録されている言語が設定されます。
視聴制限	1 KID SAFE 2 G 3 PG-G 4 PG-13 5 PG-R 6 R 7 NC-17 8 無制限	視聴年齢制限を1から8までのレベルから設定できます。 1 2 3 4 5 6 7 8 制限大 ←————→ 制限小 無制限 変更するにはパスワードが必要です。 ⇒次ページの「パスワード設定」をご覧ください。
パスワード	次のページで説明します。	
設定初期化	実行	初期設定（工場出荷時の設定）の状態に戻します。「視聴制限」のパスワードは初期化されませんのでご注意ください。

パスワードの設定

視聴年齢制限設定で必要になるパスワードを変更することができます。

パスワードの変更

- 1 【設定】 ボタンを押し、方向ボタンで【パスワード】を選択します。
【決定】 ボタンを2回押してください。
- 2 リモコンの数字ボタンで「旧パスワード」（数字4桁）を入力します。初期状態のパスワードは「8888」です。
- 3 「新パスワード」に希望の番号（数字4桁）を入力します。
- 4 「パスワード確認」へ確認のためにもう一度「新パスワード」と同じ番号を入力し、【決定】 ボタンを押して確定します。
- 5 【設定】 ボタンを押して終了します。



※初期パスワードはパスワードを変更しても有効です。

こまったときは

故障かな?と思ったときは、下記の項目をもう一度チェックしてください。また、一度本製品本体の電源スイッチを OFF にしてから、再度起動してみてください。

それでも正常に作動しない場合は、弊社サポートセンターにご連絡ください。

(各項目の詳細は、この説明書の対応する項をお読みください)

症状	考えられる原因・確認事項
製品本体が作動しない	製品本体の主電源は入っていますか？ ACアダプターやDCアダプターは接続されていますか？ 電源がスタンバイになっていませんか？ 製品本体の電源 LED が緑色に点灯していない場合は下記の項目をご確認ください。 ・製品本体の電源スイッチが ON であること ・電源が正しく接続されていること ・内蔵バッテリーに十分に充電されていること
ディスクが再生できない	ディスクに傷や汚れがないことをご確認ください。
	ディスクのリージョンコードが本製品と合っていない可能性があります。リージョンコードの合わないディスクは再生することができません。
	ディスクの表裏を逆にセットしていませんか？ 印刷のある面が上になるようにディスクトレイにセットしてください。
	視聴制限機能が作動している可能性があります。ディスクの視聴制限の有無と、本製品の設定をご確認ください。
	本製品を寒い場所から急に暖かい、または湿気のある場所に移動すると、内部に結露が生じる可能性があります。 電源コードを抜いて、本製品の温度が室温と同じになり結露した水分が蒸発するまで、しばらく使用しないでください。
	温度が高い所や低い所で使用していませんか？ 本製品の使用環境は 5℃～ 35℃です。
	DVD ± R/RW/ ± R DL ディスクの場合は、ディスクに「ファイナライズ」という処理を行わないと再生できません。ファイナライズの行い方については、ディスクに録画を行った DVD レコーダーやパソコンなどの取扱説明書をご確認ください。
	ディスク固有の問題の可能性があります。他のディスクが再生できるか試してみてください。

※ 作成したディスク (CPRM 記録ディスクなど) を再生すると、当製品との相性により基本的な操作が正常に機能しない場合があります。

症状	考えられる原因・確認事項
本製品がリモコンの操作に応じない	画面に  のアイコンが表示される場合は、無効な操作をしているか本製品がビジー状態になっている可能性があります。
	リモコンの電池が切れていませんか？ 新しい電池に交換してみてください。
	リモコンの発信部と本体リモコン受光部の間に信号を遮るものがないよう注意してください。
	製品本体の主電源は入っていますか？ 電源がスタンバイになっていませんか？ 製品本体の電源 LED が緑色に点灯していない場合は下記の項目をご確認ください。 ・製品本体の電源スイッチが ON であること ・電源が正しく接続されていること ・内蔵バッテリーに十分に充電されていること
	製品本体前面の受光部が直射日光や強い光にさらされていると、リモコンがうまく作動しない場合があります。光があたらないようにするか、リモコンの角度を変えたり、受光部に近づいて操作してください。
画像・音声が乱れる、出ない	製品本体の主電源は入っていますか？
	電源がスタンバイになっていませんか？
	ディスクに傷や汚れがないことをご確認ください。
	ディスクは正しくセットされていますか？
	本製品の設定が正しく行われていることをご確認ください。
	テレビシステム (PAL / NTSC) は正しく設定されていますか？ 日本は NTSC 方式です。
	電波を発生する機器の近くで使用していませんか？
	本製品を寒い場所から急に暖かい、または湿気のある場所に移動すると、内部に結露が生じる可能性があります。電源を抜いて、本製品の温度が室温と同じになり結露した水分が蒸発するまで、しばらく使用しないでください。
	温度が高い所や低い所で使用していませんか？ 本製品の使用環境は 5℃～ 35℃ です。

症状	考えられる原因・確認事項
画像・音声が乱れる、出ない（つづき）	消音になっていないかご確認ください。 （リモコンの消音ボタンを押してみてください）
	音量がゼロになっていないかご確認ください。
アングル切り換えができない	再生しているディスクに、複数のアングルが記録されていない可能性があります。
音声の切り換えができない	再生しているディスクに、複数の音声記録されていない可能性があります。
字幕の切り換えができない・消せない	再生しているディスクに、複数の字幕が記録されていない可能性があります。
テレビ・AV 機器接続時に 画像・音声が乱れる・出ない	本製品の出力端子と、接続している機器の入力端子が正しく接続されていることをご確認ください。
	テレビのチャンネルは本製品からの入力に合っていますか？テレビの取扱説明書をご確認ください。 （多くのテレビではビデオ、ビデオ1、AUX In、Video In、A/V Inなどのチャンネルがビデオ入力です）
	本製品やテレビの画面や信号に関する設定をご確認ください。
	ケーブルにゆるみなどがないことをご確認ください。
4：3PS 表示ができない・切り換えができない	4：3PS（パンスキャン）はディスクに4：3PS サイズで収録されている映像を表示するための機能です。16：9 サイズの映像を強制的にPS 表示（画面の左右をカットなど）にしてしまう機能ではありません。ディスクのパッケージにPS（パンスキャン）表記があるかご確認ください。

仕様

	仕様概要
ディスプレイ	9インチ
アスペクト比	16 : 9
解像度	800(W)×480(H)
対応メディア	DVD-ROM/±R/±RW DL、CD-ROM/R/RW、 SD(SDHC)カード、USBメモリー（最大32GBまで対応）
対応フォーマット	DVD-Video、DVD-VR/CPRM、MPEG4、MP3、JPEG、CD-DA
信号方式	NTSC/PAL
出力端子	イヤホン出力×1、AV出力×1
カードスロット	SD (SDHC) カード入力×1 最大32GBまで対応
USBポート	USBメモリー入力×1 最大32GBまで対応
電源	ACアダプター 入力：AC100V-240V 50/60Hz 出力：DC12V DCアダプター 入出力：DC12V 内臓バッテリー リチウムイオンバッテリー DC7.4V 1500mAH
消費電力	12W
動作保証温度	0℃～40℃（結露無きこと）
本体サイズ	約250（幅）×約185（奥行）×約45（高さ）mm
本体重量	約871g
付属品	ACアダプター、AV 接続ケーブル、DC アダプター、リモコン（リモコン用コイン型電池）、アンテナ、テレビコネクター、mini B-CASカード、取扱説明書、保証書

※本製品は日本国内専用です。※リモコンに挿入されているCR2025コイン形電池は動作確認用です。

※充電時間の目安・・・約4時間 使用状況や環境により充電時間は異なります。

※連続使用(再生)時間の目安・・・約2時間 使用状況や環境により再生時間は異なります。



株式会社エスキュービズム通商

[本社] 〒105-0011 東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビル A 館 4F
[商品管理部] 〒330-0846 埼玉県さいたま市大宮区大門町 3-169-2
ダヴィンチ大宮 3F

■本製品のお問い合わせ先

お客様相談窓口	☎ 03-4455-4123
受付時間	月～金 ※弊社営業日(土日祝日を除く) 9:30 ～ 12:30 13:30 ～ 17:00

E-01

2015年10月現在